

兵庫県赤十字有功章等

平成 28 年 11 月 30 日に兵庫県公館で開催された「平成 28 年兵庫県赤十字有功章等贈呈式」で、献血奉仕活動などに貢献された 15 名の方が表彰されました。

日本赤十字社金色有功章／前田知明さん、橋爪浩和さん

支部長感謝状（金枠感謝状）／谷勝公代さん、定行早苗さん、橋本たへ子さん

支部長感謝状（銀枠感謝状）／内橋純子さん、小田幸代さん、岸本好子さん、桜井早苗さん、澤中篤子さん、竹内志寸美さん、谷口陽子さん、玉田啓子さん、前川祥子さん、柳暁美さん



受章された皆さん

兵庫県農業賞

農業の経営に優れ、多年にわたり、兵庫県の農業の振興に貢献された谷川定隆さん（倉谷町）が平成 28 年 11 月 29 日、兵庫県公館で県知事から「兵庫県農業賞」の表彰をされました。

谷川さんは、県果樹研究会ぶどう部会長を歴任し、加西ゴールドンベリー A のハウス・一部被覆などの作型を複合した経営の確立、環境創造型農業による「ひょうご安心ブランド」の認証取得などに尽力されました。



谷川さん（前列左から 3 人目）ら

加西市民の警察官表彰

平成 28 年 11 月 25 日に健康福祉会館で開催された「安全・安心のまちづくり市民大会」で、警察官表彰の贈呈式が行われました。

加西警察署地域課 巡査部長 辰口幹生さん

余罪多数の車上狙いや痴漢行為の検挙など、加西市の安全・安心のまちづくりの推進に貢献されました。

兵庫県技能顕功賞

金属加工や建築・土木などの部門で優れた技能者を表彰する「兵庫県技能顕功賞」に、加西市から 2 名の方が選ばれました。

上原和哉さん（西長町） 数値制御金属工作機械工
黒田秀一さん（北条町北条） 造園工

トリアージを用いた救急救助訓練

問合せ／産業振興課 ☎42-8740 FAX43-1802
sangyo@city.kasai.lg.jp

加西市と加西消防署は平成 28 年 11 月 17 日、同消防署で治療や搬送の優先順位を判断する「トリアージ」を用いた救急救助訓練を行いました。トリアージ用品は、加西南産業団地（網引町）に立地する株式会社 SIC（旧芝本産業）グループの自社製品であり、同社設立 50 周年を記念して加西市に寄贈されたものです。

訓練は交通事故を想定し、寄贈されたトリアージ用テントやシート、タグを実際に使用して実施しました。

消防士らは、トリアージ用テントの組み立て説明を同社の社員から受けた後、乗用車同士の衝突事故で 1 台には 5 人の軽傷者、もう 1 台は横転し車内に 2 人の重傷者が閉じ込められたとの設定で救助訓練を開始。軽傷者は、治療や搬送の優先順位が低い緑色のテントに運び、閉じ込められた重傷者役の人形は、消防士らが車のフロントガラスを破り救出、優先順位が高い赤色のテントに運びました。

今後、「トリアージ」は加西消防署で保管し、大規模な交通事故や地震など集団災害発生時の救急救助に活用します。



閉じ込められた車内から救出。後方のテントがトリアージ用テント

■寄贈品のトリアージ

- ・テント 赤・黄・緑 各色 1 張
- ・シート 赤・黄・緑・黒 各色 1 枚
- ・タグ 1000 枚

マイナンバーカードの申請が市役所でも可能に

問合せ／市民課 ☎42-8720 FAX43-8045
shimin@city.kasai.lg.jp

市役所の窓口でもマイナンバーカードの交付申請ができるようになりました。また、申請書に貼付する顔写真の無料撮影も開始しました。

なお、本人が申請にお越しいただいた場合に限り、後日マイナンバーカードを、住民登録のある住所地に本人限定受取郵便で送付します（お届けには1～2カ月程度かかります）。

■申請場所／市役所 1階市民課②番窓口

■必要書類

- ①個人番号通知カード
- ②顔写真付身分証明書（運転免許証、身体障害者手帳、在留カードなど）
- ③健康保険証、介護保険証など
- ④住民基本台帳カード（お持ちの方のみ）

※必要書類が不足の方も、顔写真の無料撮影はできます。

※15歳未満の方や成年被後見人には、法定代理人の同行が必要です。法定代理人の本人確認書類、法定代理人の確認ができる書類をお持ちください。

お互いの人権が尊重されるまちを目指して

問合せ／人権推進課 ☎42-8727 FAX43-1380
jinken@city.kasai.lg.jp

加西市は、お互いの人権が尊重されるまちづくりを目指して、平成28年7月7日から11月9日にかけて各町、各地区で人権学習会を行い、52会場で1,180人の参加がありました。今回は、新しい試みとして、音楽と講話を併せた学習の場を用意しました。人権学習会に参加された方の感想などは、市ホームページに掲載しています。



歌いながら人権について語る高田光裕さん

■地区人権学習内容（6地区で実施）

下里・富合・西在田・在田地区／人と人、地域社会の関係が希薄化になっていることから、地域の絆づくり、人と人の関係づくりの「あいうえお（あいさつ、いい所探し、うなずき、えがお、おしゃれ）」が大切。また、障がい者差別や高齢者差別などの数々の人権問題は、決して他人ごとではありません。

北条・富田地区／「歌い継ぐ 語り継ぐ」という題目で、歌を歌いながら、歌詞に込められた思いを聞き、人としてのあり方や生き方について考え、家庭教育の大切さや平和のありがたさなどを学びました。

■まちかどフォーラムの内容（賀茂・九会・多加野地区の各町で実施）

厚生労働省によると2025年には、65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症になると言われています。認知症高齢者の尊厳を守り、地域でどう支えていくのかということを中心に、話し合いました。

（主な意見）

- ・まず、認知症を正しく理解することが大事。
- ・普段から地域でコミュニケーションをとることが大切。
- ・できないことを悲しむより、できることを喜び、周りからの声かけ、心がけが大切。

■お互いの人権が尊重されるためには

- ・身近な差別や偏見に気づき、その解消に努める。
- ・相手の立場に立って物事を考え、共生について考える。
- ・知識の習得に努め、社会的・心理的な壁を取り去る。
- ・具体的な態度や行動に現れる人権感覚の育成を図る。

平成29年度も、多くの方に参加していただけるよう、学習会の充実を図りながら、住民人権学習を行います。お互いの人権が尊重されるまちを目指して、一緒に話し合しましょう。

加西ブランド協議会が「日本酒条例サミット in 京都2016」に参加

「日本酒条例サミット in 京都 2016」が平成28年11月19日、京都市役所前広場で開催され、加西ブランド協議会（加西市・JA兵庫みらい・加西商工会議所）が参加しました。

乾杯条例制定自治体の日本酒のさらなる振興・発展を促進するためのもので、全国から自治体や酒蔵43団体、180銘柄が一堂に会しました。

加西からは高級な純米大吟醸、大吟醸酒を3銘柄出品したところ、若者を中心に多くの来場者から高い評価を受けました。他にも加西産山田錦を使った全国の銘柄も多く出品され、終日「加西の酒」で賑わいました。



若者で賑わった加西ブランド協議会のブース